



新国立劇場 2023/2024 シーズンオペラ

ジャコモ・プッチーニ

トスカ

Tosca / Giacomo Puccini

2024年7月6日(土)～7月21日(日)

会場:新国立劇場 オペラパレス 2024年4月13日(土) 10:00～ 前売開始



『トスカ』2018年公演より

歌に生き、恋に生きた歌姫トスカの愛と悲劇

政情不安のローマを舞台に、運命に翻弄される歌姫トスカと画家カヴァラドッシの愛と悲劇を、プッチーニが甘美な旋律と劇的なオーケストラで描いた傑作オペラ。荘厳華麗なマダウ＝ディアツ演出は、緻密な描写で歌姫トスカの愛と死の極限のドラマを描くもので、新国立劇場のレパートリーの中でも屈指の人気作です。

指揮には名匠マウリツィオ・ベニーニを迎え、トスカ役には新世代のプリマドンナとして席卷中のジョイス・エル＝コーリーが新国立劇場初登場を飾ります。恋人カヴァラドッシには『トゥーランドット』カラフで強靱な声で圧倒したイリンカイが登場します。

これぞオペラ！美しく豪華絢爛な舞台や衣裳にも注目！

新国立劇場の『トスカ』はローマに現存する建築を移したような壮麗な舞台。中でも第1幕フィナーレの「テ・デウム」は、目の前で舞台装置が壮麗な大聖堂へと展開し、神を讃える合唱を背景に究極の悪役スカルピアが欲望を吐露する、圧巻のクライマックス。音楽と視覚の相乗効果に包まれる、オペラの醍醐味そのものの大迫力のシーンが観客の心を揺さぶります。イタリア・オペラを観てみたいなら、まずは新国立劇場の『トスカ』から。オペラファンの方もオペラ初挑戦の方も圧倒されること間違いありません。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

過酷な運命に翻弄された歌姫トスカの物語

政情不安に揺れるローマを舞台に、運命に翻弄される歌姫トスカと共和派の画家カヴァラドッシの愛と悲劇を、プッチーニが甘美な旋律と劇的なオーケストラで描いた傑作オペラ『トスカ』。冒頭のカヴァラドッシの甘美なアリア「妙なる調和」、トスカの絶唱「歌に生き、恋に生き」、カヴァラドッシの告別の歌「星は光りぬ」など全編に人気アリアが散りばめられています。歴史的な1日を切り取った緊迫のドラマ、そして美しい音楽に彩られる声のエンターテインメントとして歌手の技量も存分に楽しめる、オペラの中のオペラです。

新国立劇場のマダウ＝ディアツ演出は、1800年6月17日(ナポレオン軍がオーストリア軍に勝利した日)のローマの恋人たちのドラマを緻密な描写で描くもので、自由を求めるカヴァラドッシとトスカの愛、共和派を追う警視總監スカルピアの暗い欲望がダイナミックに綴られ、新国立劇場のレパートリーの中でも屈指の人気を誇ります。

舞台はローマに現存する聖アンドレア・デッラ・ヴァッレ教会、ファルネーゼ宮殿、サン・タンジェロ城という歴史的建造物で展開。中でも第1幕フィナーレの「テ・デウム」は、教会の礼拝堂から壮麗な聖堂へと目の前で舞台装置が動いて変化し、人々の神を讃える合唱を背景に悪役スカルピアが欲望を吐露する、圧巻の名場面。新国立劇場ならではの豪華絢爛な舞台と大迫力の音楽で、オペラの醍醐味を存分に味わっていただきます。



名匠ベニーニのもと、注目のエル＝コーリー、イリンカイら旬の歌手が集結！

歌姫トスカ役には、世界の歌劇場で活躍するジョイス・エル＝コーリーが新国立劇場初登場。ニュアンスに富む声と高度なテクニク、圧倒的なプレゼンスが絶賛される新世代のプリマドンナ、エル＝コーリーのドラマティックなトスカは、客席の感動をさらうこと間違いありません。

カヴァラドッシ役はオペラ夏の祭典『トゥーランドット』カラフで強靱で厚みのある声で絶賛されたテオドール・イリンカイが出演します。イリンカイにとってカヴァラドッシ役はカラフや『蝶々夫人』ピンカートンと並ぶ得意役です。スカルピアはジョージア出身、重厚な表現に定評あるバリトン、ニカラズ・ラグヴィラーヴァです。

指揮はイタリア・オペラを知り尽くす名匠マウリツィオ・ベニーニ。新国立劇場へ15年ぶりに登場した23年『リゴレット』でも一瞬の無駄もなく陰影豊かな音楽で感動を誘い、絶賛された熟練のマエストロが嬉しい再登場です。ベニーニならではの劇的で緊張感漲る演奏にご期待ください。



<「トスカ」あらすじ>



1800年6月17日、オーストリア支配下のローマ。共和派の画家カヴァラドッシは、脱獄した友人アンジェロツィをかくまった罪で捕らえられる。トスカをわがものにしようと狙う警視總監スカルピアは、トスカの面前で恋人カヴァラドッシを拷問し、命を救う代償にトスカ自身を要求。トスカは取引に応じたふりをして、カヴァラドッシを形だけの処刑とする約束を取り付け、出国許可証を手にするや否や、ナイフでスカルピアを刺し殺す。明け方、見せかけの銃殺刑が行われるが…。

新国立劇場「トスカ」ダイジェスト映像

https://youtu.be/gf0p_YkC5rM?si=efBsAAIBPAF96GsM

＜キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】マウリツィオ・ベニーニ

Maurizio BENINI

メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラなど世界の主要歌劇場、音楽祭で活躍する指揮者。ミラノ・スカラ座に『湖上の美人』でデビューし、同劇場『ドン・カルロ』『道化師』『ドン・パスクワレ』『リゴレット』『夢遊病の女』を指揮。ポーロニヤ歌劇場管弦楽団、サンチャゴ・ムニシパル劇場首席指揮者、サン・カルロ歌劇場首席客演指揮者などを歴任。最近ではメトロポリタン歌劇場『ドン・パスクワレ』『ロベルト・デヴェリユー』『セビリアの理髪師』『清教徒』『ノルマ』、オランダ国立オペラ『ナブッコ』『椿姫』、チューリヒ歌劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』『夢遊病の女』、モンテカルロ歌劇場『アドリアーナ・ルクヴルール』『ルイザ・ミラー』『ファルスタッフ』、パリ・オペラ座『アンナ・ボレーナ』、プエノスアイレス・コロソ歌劇場『リゴレット』、テアトロ・レアル『イル・トロヴァトーレ』『夢遊病の女』『清教徒』、ワロン歌劇場『オテロ』（ロシーニ）などを指揮。新国立劇場へは98年『セビリアの理髪師』でデビュー、23年『リゴレット』で絶賛を博した。



【演出】アントネッロ・マダウ＝ディアツ

Antonello MADAU-DIAZ

イタリア・ペルージャ生まれ。フィレンツェで舞台技術と演出を学び、ヴィスコンティ、ゼッフィレリなど世界第一級の演出家のもとで研鑽を積む。1956年ジェノヴァ市立歌劇場の『ヘンゼルとグレーテル』でオペラ演出家デビュー。以来、ミラノ、ローマなどイタリア各地をはじめ、スペイン、フランス、アメリカなど世界各地の歌劇場で200本以上の演出を手がけ、オペラ専門の演出家として活躍。いずれもイタリア・オペラの伝統を踏まえた手堅い演出で評価を得ている。58年から91年までミラノ・スカラ座に所属し、演出部長、制作部長を務めた。新国立劇場では、98年に『ナブッコ』、2000年には『トスカ』の演出を手掛けた。『トスカ』は緻密な舞台づくりと豪華な舞台装置で、新国立劇場屈指の人気レパートリーとなっている。15年8月逝去。



【トスカ】ジョイス・エル＝コーリー（ソプラノ）

Joyce EL-KHOURY

レバノン出身、カナダ育ち。ノルマ、カルメン、トスカ、蝶々夫人、ヴィオレッタなど30以上の役で世界の主要歌劇場に主演を重ねる。キャッスルトン音楽祭『オテロ』デズデモーナ、『ラ・ボエーム』ミミ、『修道女アンジェリカ』タイトルロールなどでロリン・マゼールと、シカゴ交響楽団、東京・春・音楽祭『仮面舞踏会』でリッカルド・ムーティと共演を重ねる。英国ロイヤルオペラでドニゼッティ『ニシダの天使』、ワイマール国民劇場管弦楽団のリスト『サルダナパール』それぞれの世界初演に出演。最近のハイライトに、シュタインブルッフ野外オペラ『カルメン』タイトルロール、アテネ・ヘロデス・アッティカス劇場でのマリア・カラス生誕100年記念公演『ノルマ』タイトルロールなどがある。23/24シーズンはモンテカルロ歌劇場『ドン・カルロ』エリザベッタ、フィンランド国立歌劇場『シモン・ボッカネグラ』アメリアとヴェルディの2役にロールデビューしたほか、モントリオール・オペラで『La Reine Garçon (少年女王)』世界初演の女王クリスティーンに出演。24年夏にはスウェーデンのビルギット・ニルソン・デイズで『仮面舞踏会』アメリアに出演予定。2022年ダラス・オペラよりマリア・カラス・デビュー・アーティスト賞受賞。新国立劇場初登場。



【カヴァラドッシ】テオドル・イリンカイ（テノール）

Teodor ILINCĂI

ルーマニア出身。オーボエ、ビザンチン音楽、音楽教育を学ぶ。ブカレストのルーマニア国立オペラでキャリアをスタートし、25歳で『マクベス』マクダフを歌う。同年ハンブルク州立歌劇場で同役を歌い、ウィーン国立歌劇場へ『ナブッコ』イスマエーレで、英国ロイヤルオペラへ『ラ・ボエーム』ロドルフォでデビュー。これまでに『ドン・カルロ』タイトルロール、『椿姫』アルフレード、『マクベス』マクダフ、『アドリアーナ・ルクヴルール』マウリツィオなどの役でオペラ・オーストラリア、ポリショイ劇場、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、モネ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザクセン州立歌劇場などの主要歌劇場へ出演。最近の主な出演に、ライン・ドイツ・オペラ、トッレ・デル・ラーゴ・ブッチーニ音楽祭、ジュネーヴ大劇場『トゥーランドット』カラフ、ザクセン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場『トスカ』カヴァラドッシ、ウィーン国立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、マルセイユ歌劇場、ザクセン州立歌劇場『蝶々夫人』ピンカートン、ハンブルク州立歌劇場『カルメン』ドン・ホセなど。新国立劇場ではオペラ夏の祭典『トゥーランドット』カラフに出演した。



【スカルピア】ニカラズ・ラグヴィラーヴァ（バリトン）

Nikoloz LAGVILAVA

ジョージア出身。ジョージア国立歌劇場専属歌手を経て、エッセン・アールト劇場専属歌手として『カルメン』エスカミーリョ、『オテロ』イアーゴ、『トスカ』スカルピアなどに出演。ライン・ドイツ・オペラ『トスカ』スカルピアで絶賛を博したほか、リール歌劇場、ディジョン歌劇場『ナブッコ』タイトルロール、グラインドボーン音楽祭、ベルリン・コーミッシェ・オーバー『リゴレット』タイトルロールなどに出演。これまでにハノーファー歌劇場、ポーランド歌劇場『アイダ』アモナズロ、バーゼル歌劇場、ポリショイ劇場『リゴレット』タイトルロール、ディジョン歌劇場、リール歌劇場『オテロ』イアーゴ、ポリショイ劇場、スロヴァキア歌劇場『カルメン』エスカミーリョ、サヴォンリン音楽祭『スペードの女王』トムスキー伯爵などに出演。最近ではジョージア国立歌劇場『椿姫』ジェルモン、ブラハ国立劇場『アイダ』アモナズロ、サンティアゴ・ムニシパル劇場、トゥーロン歌劇場、バーゼル歌劇場、ブラハ国立劇場『リゴレット』タイトルロールなどに出演している。新国立劇場初登場。



新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ
ジャコモ・プッチーニ **トスカ** 全3幕(イタリア語上演/日本語及び英語字幕付)
Tosca / Giacomo PUCCINI

【公演日程】 2024年7月6日(土)14:00/10日(水)14:00/14日(日)14:00/19日(金)19:00/21日(日)14:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売開始】 2024年4月13日(土) 10:00～

※予定上演時間 約2時間55分(休憩含む)

指揮	マウリツィオ・ベニーニ	トスカ	ジョイス・エル＝コーリー
Conductor	Maurizio BENINI	Tosca	Joyce EL-KHOURY
演出	アントネッロ・マダウ＝ディアツ	カヴァラドッシ	テオドル・イリンカイ
Production	Antonello MADAU-DIAZ	Cavaradossi	Teodor ILINCĂI
美術	川口直次	スカルピア	ニカラズ・ラグヴィラーヴァ
Set Design	KAWAGUCHI Naoji	Scarpia	Nikoloz LAGVILAVA
衣裳	ピエール・ルチアーノ・カヴァッロツティ	アンジェロツティ	妻屋秀和
Costume Design	Pier Luciano CAVALLOTTI	Angelotti	TSUMAYA Hidekazu
照明	奥畑康夫	スポレッタ	糸賀修平
Lighting Design	OKUHATA Yasuo	Spoletta	ITOGA Shuhei
再演演出	田口道子	シャルローネ	大塚博章
Revival Director	TAGUCHI Michiko	Sciarrone	OTSUKA Hiroaki
		堂守	志村文彦
		Il Sagrestano	SHIMURA Fumihiko
		看守	龍 進一郎
		Carceriere	RYU Shinichiro
		羊飼 い	前川依子
		Uh Pastore	MAEKAWA Yoriko

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
児童合唱	TOKYO FM 少年合唱団
Chorus	TOKYO FM Boys Choir
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督

大野和士	
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/tosca/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】

新国立劇場「トスカ」2018年公演より

撮影: 寺司正彦